

H-IIAロケット50号機打上げについて

H-IIAロケットの最終号機となる50号機が、2025年6月29日1時33分03秒(日本標準時)に国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)種子島宇宙センターから打上げられ、搭載した観測衛星GOSAT-GWを正常に分離したことが確認されました。

本ロケットの打上げをもって、日本の基幹ロケットであるH-IIAロケットはその役目を終え退役となります。

開発を主導されたJAXA、プライムコントラクターとして機体開発を取りまとめられ、2007年から打上げ事業を担われた三菱重工株式会社をはじめ、関係された多くの皆様に深い謝意を表します。

2009年以降、H-II(A・B)ロケットには当社が開発・製造した画像圧縮伝送装置、ロケット搭載カメラ、照明装置が搭載されております。ロケット打上げ時の上空の気象を確認するため、高層気象観測技術者を射場に派遣してラジオゾンデによる観測も担当しております。またIHIグループとしても、ロケットエンジン用ターボポンプ、固体ロケットブースター(SRB-A)等を担当しており、高い技術力と信頼性を有するこれらの製品は日本の宇宙開発を支える重要な役割を果たしてきました。

IHIグループは、170年にわたり、様々な分野で、技術をもって社会の発展に貢献してまいりました。これからも、われわれのコア技術である「推力」を中核として、宇宙分野のフロンティアを開拓するとともに、我が国の安全保障に貢献し、社会の根幹を支える企業として取り組んでまいります。

(担当:宇宙防衛事業部)



前橋工科大学の地域活性化研究事業に採択！ POTEKAを活用した防災教育コンテンツの 研究開発をスタート

5月28日、公立大学法人 前橋工科大学の学内公募「令和7年度地域活性化研究事業」に、明星電気が採択されました。研究テーマは、「デジタルカメラ映像の画像解析による降雨強度推定手法の検討」です。

本件は、同大学の水工学研究室との共同研究となり、POTEKAを使ったセンシングと、カメラによる映像データとを融合させた降雨強度推定マップを活用した防災教育コンテンツを住民に提供し、住民の「雨をみる・はかる・かんがえる」自助公助の防災意識を高め、防災に強いまちづくりにしていくことを目指します。

明星電気は、これからも次世代の安全・安心につながる独自のセンシング&コミュニケーション技術を、地域と連携して発信していきます。

(担当:気象防災事業部、営業本部)

産学連携による
新しい地域防災のあり方を研究

陸上自衛隊第15旅団「暑熱対策等セミナー」に出展

6月3日、4日、陸上自衛隊那覇駐屯地(沖縄県那覇市)にて、陸上自衛隊第15旅団「暑熱対策等セミナー」が開催され、参加しました。

この暑熱対策等セミナーは、「南西地域(酷暑地域)の過酷な暑熱環境等を克服するため、旅団として広く民生品に係る最新の動向等を実視・体感して、部隊運用・教育訓練の資を得る」ことを目的に開催されました。当社は屋内の会場において、2024年7月にプレスリリースした「超小型成層圏プラットフォーム」の実機を展示し、セミナー参加者へのPRと意見交換を行いました。

今後もお客様のニーズに応じた課題解決、価値向上につながるご提案を行ってまいります。

(担当:気象防災事業部、営業本部)

[文中:敬称略]



展示した超小型成層圏プラットフォーム
イメージ図

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、
安全・安心な社会の発展に貢献していきます。

明星電気の活動を紹介します。